

平成28年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール研究実施報告（第1年次）（概要）

1 研究開発課題名	
<p>ディステーションデザイン！ アジア経済圏におけるファッション産業集積拠点「福岡」の成長を担う専門的職業人「Kブランド人材」の育成 ～高度な資質・能力を育む産学接続型教育プログラムの開発を通して～</p>	
2 研究の概要	
<p>鋭い感性や豊かな創造力などの高度な資質・能力を身に付け、グローバルな視野を持って福岡から“クールジャパン”を発信する人材を輩出するため、福岡商工会議所等の協力機関と連携・協働の在り方について協議を開始するとともに、以下の学習プログラムの開発及び目標に対する効果測定の方法に関する研究を行う。</p> <p>ア 唯一無二のデザインを生み出す創造力を育む「福岡発ファッションイベント企画・運営実習」 イ 可能性を広げるワールドワイドな鋭い感性を育む「世界のファッション文化を学ぶ海外研修」 ウ “美”の文化を複眼的に捉える洞察力を育む「郷土の一級品に触れる実習・体験活動」 エ グローバルに活躍する基礎となる語学力を育む「English for fashion students」</p>	
3 平成28年度実施規模	
服飾デザイン科を対象として実施した。	
4 研究内容	
○研究計画（指定期間満了まで）	
第1年次	<p>【学習プログラムの開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福岡商工会議所や地元産業界、大学など協力機関と連携のあり方について協議を開始 研修プログラムの企画、協力機関との調整及び実施 ファッション英語カリキュラム及び教材開発（1年次）等 <p>【目標に対する効果測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ルーブリックの開発 アンケート調査の実施等
第2年次	<p>【学習プログラムの開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年目に実施したプログラムの検証と改善及び実施 ファッション英語カリキュラム及び教材開発（2年次）等 <p>【目標に対する効果測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の活動記録等の分析 高度資格の指標の在り方についての研究
第3年次	<p>【学習プログラムの開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年目に実施したプログラムの検証と改善及び実施 ファッション英語カリキュラム及び教材開発（3年次）等 <p>【目標に対する効果測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年間のアンケート、生徒の活動記録の最終分析 最適な産学接続教育プログラムの策定

○平成28年度の教育課程の内容

教科横断的視点にたったカリキュラム・マネジメントの充実・改善に学校全体で取り組む中、ファッションショーを主軸とした教育活動における専門科目間の横断的視点を検討するとともに、SPH事業との関連性の明確化や、英語をはじめ普通教科との横断的カリキュラムの構築を図った。

(平成28年度教育課程表 ※別紙にて添付)

○具体的な研究事項・活動内容

1 研究事項

(1) 学習プログラムの開発

ア 協力機関との連携・協働の推進

福岡商工会議所をはじめ、多くの地元ファッション企業関係者との意見交換を行いながら、学習プログラムの開発を目指して、各事業を進めた。

イ 学習内容の明確化

「どのような力を身に付けさせるか」、「そのために何をどのように学ばせるか」等の視点を重視した学習内容となるよう、事業の企画立案と実施に取り組んだ。

(2) 目標に対する効果測定（評価方法）

■定性的な評価

・ルーブリックの開発

生徒によるプレゼンテーションを評価するためのルーブリックを作成し、試行的に実施した。

・アンケート調査及び生徒意識調査（仮称）の実施

個別の事業の成果を把握するために、生徒や教員、外部協力機関向けのアンケート調査を毎回実施するとともに、3年間のSPH事業を通して生徒の成長を測る生徒意識調査を実施した。

■定量的な評価

ファッション産業で活躍できる資質を身に付けたかどうかの指標としてファッションに関する高度資格の取得率を指標とし、色彩検定（文部科学省後援）1級、ファッション販売能力検定（日本ファッション教育振興会）2級取得率70%を目指して指導に取り組んだ。

2 活動内容（事業報告）

(1) 福岡発ファッションイベント企画・運営実習

〔ファッションウィーク福岡〕実習〕

「地元・県外・アジア客の集客」及び「福岡のファッションポテンシャル拡大」を目的として開催される「ファッションウィーク福岡」への参画を目指し、スペース提供のファシリティに向けて、マッチングミーティングにおいて企画提案を行い、第一希望の「キャナルシティ博多」でのファッションショーの開催が決定した。現在、ステージ発表の企画・運営実習を実施している。

- ・11月24日：専門家を招聘した特別授業（3年生）
- ・11月～2月：ステージ発表（ファッションショー）の企画・提案（3年生）
- ・12月21日：マッチングミーティング（1・2・3年生）
- ・3月25日：ステージ発表・運営（1・2年生）キャナルシティ博多ファッションショー

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」

協力機関：福岡アジアファッション拠点推進会議、エスモードジャポン、キャナルシティ博多

実施場所：本校、福岡市博多地区

〔オリジナルファッションショー実習〕

3DデータCAD、ウォーキングなどの特別授業を実施することにより、本学科の教育課程の主軸

である本校文化祭のファッションショーの充実を図るとともに、さまざまな会場で、それぞれの客層やイメージに合わせたオリジナルファッションショーを実施した。

- ・ 5月21日：パーソナルカラーの特別授業（3年生）
- ・ 5月28日：ウォーキングの特別授業（3年生）
- ・ 6月4日：ファッションショー（本校文化祭）（全学年）
- ・ 10月29日：ファッションショー（近隣ショッピングセンター）（3年生）
- ・ 12月6日：トータルコーディネート特別授業（3年生）
- ・ 2月3日：3DデータCADによる製作について特別授業（1, 2年生）
- ・ 2月21日：ウォーキングの特別授業（1, 2年生）
- ・ 2月25日：ファッションショー（博多阪急）（3年生）
- ・ 3月3日：色彩の特別授業（1年生）

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」「生活産業情報」

協力機関：博多阪急、株式会社イオン、

香蘭女子短期大学、麻生ビューティカレッジ、Be-STAFF、ベルエポック（専門家の派遣）、

〔福岡アジアコレクション〕実習〕

アジアコレクションで活躍のトップデザイナーによる講演は、ファッション業界の将来像や在り方を考えさせる機会となった。運營業務体験では、バックヤードの見学及び体験を通して、アジアのファッション文化の動向や産業としてのファッションへの理解を深めさせることができた。

- ・ 1月17日：アジアコレクションに出品するトップデザイナー招聘特別事業（3年生）
- ・ 3月17日：国際ファッションイベント（福岡アジアコレクション）の運營業務体験（1, 2年生）

関係科目：「ファッション造形基礎」「ファッション造形」「ファッションデザイン」「生活産業基礎」「生活産業情報」

協力機関：福岡アジアファッション拠点推進会議（「福岡アジアコレクション」主催者）

実施場所：本校、福岡国際センター

〔職業理解推進研修〕

明確な将来の目標を持ち、高い意識を持って学んでいる生徒を、文化服装学院主催の「第9回ファッション職業理解推進講座」に派遣し、第一線で活躍中のデザイナー、パターンナー等のコミュニケーションや、クオリティを追求しているファッション関連企業の訪問を通して、職業観や東京・世界を視野に入れた高い志を育成することができた。

- ・ 7月24日～27日：リーダー候補生徒10名を選考し講座に派遣（1, 2年生）

関係科目：「ファッション造形基礎」「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾文化」「服飾手芸」「生活産業基礎」「生活産業情報」

協力機関：文化服装学院生涯学習センター（講座主催者）

実施場所：同上（東京都渋谷区）

〔商品企画実習〕

デザインから卸まで一つの建物の中で行っている企業の商品企画会場及び企画室の見学を実施した。見学や、デザイナー・パターンナー・営業担当など、複数の職種の方とコミュニケーションを図ることで、仕事内容の理解を深めるとともに、お客様や商品への思いを感じ取らせることができた。

- ・ 9月19日、22日、23日、11月16日：ウンディッチノーベ商品企画実習（2年生）

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」「生活産業情報」

協力機関：(株)ウンディッチノーベ

実施場所：同上（福岡市）

〔東京ガールズコレクション〕運営実習（1, 2年生40名）

世界に発信するファッションエンターテインメントの運営実習において、リハーサルモデルとして実際のファッションショーのランウェイのウォーキングを体験することで、ウォーキングだけでなく、スタッフの仕事・バックヤードのしくみ等について理解させることができた。

・10月 8日：リハーサルダミーモデル他

関連科目：「ファッション造形基礎」「ファッション造形」「ファッションデザイン」「生活産業基礎」

協力機関：東京ガールズコレクション実行委員会（主催者）、福岡県

実施場所：西日本総合展示場新館・本館（北九州市）

（2）世界のファッション文化を学ぶ海外研修

〔カナダ研修〕

「インキュベータ」、「ジョージ・ブラウン・カレッジ」などの見学や学生との交流を通して、海外のファッション文化や多様性が可能性を生むことなどの理解を深め、世界を視野に入れた豊かな国際感覚を育むことができた。

・12月15日～20日：

「ファッション関係企業研修」「ジョージ・ブラウン・カレッジ ファッション科での特別講義と意見交換会」「トロント市内グループ研修」「カナダ織物博物館」「バータ靴博物館」（2年生）

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」「服飾文化」

協力機関：ジョージ・ブラウンカレッジファッション（特別講義の実施、会場等の提供）

実施場所：カナダ（トロント） 各会場

〔世界のファッション文化学習会〕

海外研修の事前指導として、西洋服飾史の講義を通して、流行や服飾の構造について学んだ。映画のドレスなどの着替えのシーンを活用したり、現在のデザイナーの西洋服飾史上の服からデザインへの活かし方例を紹介したり、わかりやすい説明で、今後のデザインの提案や製作に活かすことの出来る内容だった。

・11月16日：海外研修の事前学習として、ファッションの専門家による特別授業（2年生）

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」「服飾文化」

協力機関：文化服装学院（専門家の派遣）

実施場所：本校

（3）郷土の一級品に触れる実習・体験活動

〔久留米絣 染めと織りの体験〕〔博多織の実習〕

久留米絣の工房見学・博多織の工房見学と、織機・藍染め等を体験した。古くから大切に使用されてきた道具を用いた体験を通して、歴史のある素晴らしい伝統文化に触れさせることができた。藍染めは、自らの力で、デザイン、絞り、染めを行い、相互評価した。

・6月28日：久留米・博多織に関する特別授業（1年生）

関係科目：「生活産業基礎」

協力機関：久留米絣織元「森山絣工房」（特別授業の実施）博多織「千年工房」（特別授業の実施）

実施場所：同上（福岡県広川町、那珂川町）

〔色絵磁器創作実習〕

講義や工房等の見学、触れ絵付け体験を通して、波佐見焼や伊万里焼についての歴史や色彩の美しさを理解するとともに、伝統を守りながら新しい試みに次々に取り組み「美」の文化を大切にされる

心に触れさせることができた。

- ・ 10月31日：「色鍋島」の美（波佐見焼）に関する特別授業

関係科目：「ファッションデザイン」

協力機関：有限会社マルヒロ（特別授業の実施）伊万里・有田焼伝統産業会館（特別授業の実施）

実施場所：同上（佐賀県有田町、伊万里市）

〔日本文化学習〕

縄文時代から江戸時代の服飾の変遷の説明や古伊万里の展示は、「服飾文化」や昨年度の色絵磁器創作実習の既習事項を深めることができる内容だった。12月の海外研修旅行に向けて、郷土の一級品について再確認する学習となった。

- ・ 11月 2日：日本の美の文化やアジアとの交流史等に関する特別授業（2年生）

関連科目：「服飾文化」

協力機関：九州国立博物館（特別授業の実施）

実施場所：同上（太宰府市）

〔和装コーディネート実習〕

展示の振袖から似合うと思う一枚を選び、帯・草履などをコーディネートする実習を行った。染めや織り、柄など細部まで観察することで本物の美しさや素晴らしさや、着用によって背筋が伸びるすがすがしさなど、言葉だけでは伝わらない、多くのことを感じとる貴重な体験となった。

- ・ 12月 8日：和装コーディネート等に関する特別授業（1年生）

関連科目：「生活産業基礎」「ファッションデザイン」

協力機関：博多呉服商組合「呉服のたかはし」（特別授業の実施）

実施場所：同上（福岡市）

〔博多織実習〕

博多織の歴史の講義や織りの実習を通して、地元の伝統文化への理解を深め、織りの技術を身に付けるとともに、伝統工芸士とコミュニケーションを図ることで、博多織への思いに触れたり、職業観を考えさせたりすることができた。

- ・ 1月17日、24日：博多織に関する特別授業（2年生）

関連科目：「服飾手芸」

協力機関：博多織工業組合（特別授業の実施）

実施場所：本校

(4) English for Fashion students

〔ファッション英語〕

「ファッション造形基礎」で制作した作品についての英語によるプレゼンテーションや、英語教育の専門家による海外と日本の常識の違いの学習などを取り入れた英語学習に取り組んだ。

- ・ 4月～ 3月：1学年の指導カリキュラム及び教材の開発（1年生）

関連科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」「英語表現Ⅰ」

協力機関：西南女学院大学（専門家の派遣）

実施場所：本校

〔ファッション版イングリッシュキャンプ〕

実践的な英語力向上を図ることを目的に、終日英語を用いてファッションに関する多様なアクティビティを取り入れて実施した。

1年生「2020年東京オリンピック公式ユニフォームの英語による提案」

2年生「日本からカナダへの移動のデモンストレーション」

3年生「卒業製作の英語によるプレゼンテーション」

・10月19日、21日他：ネイティブスピーカーとの交流、意見交換等（1・2・3年生）

関係科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」
「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」

講師等：ALT

実施場所：なみきスクエア（福岡市）、本校

5 研究の成果と課題

○実施による効果とその評価

- ・ 校内に研修推進委員会を設置し、研究推進に向けた各事業の企画・立案及び実施に取り組むことができた。また、福岡県教育委員会が設置した運営指導委員会や有識者等からの多くの指導・助言を仰ぎながら、研究を進めることができた。
- ・ 福岡商工会議所をはじめ、多くの地元ファッション企業関係者との意見交換を行うことができた。また、企業関係者からは、学校の提案に対して「若い世代に何か少しでも伝えたい。」「自分自身の初心を見つめ直す機会になった。」等、歓迎や感謝の意をいただくなど、産学連携に向けた良好な協力体制づくりを進めることができた。
- ・ 「どのような力を身に付けさせるか」、「そのために何をどのように学ばせるか」等の視点を重視した企画立案に取り組み、学習内容の明確化を図ることができた。
- ・ ファッションショーのデザイン発表会では、生徒によるプレゼンテーションを評価するためのルーブリックを作成し、評価の観点を具体化し採点し評価に活かしたり、評価内容を生徒に還元したりすることで、その効果を確認できた。
- ・ 実施した事業（学習プログラム）全てで、生徒や教員、外部協力機関に向けたアンケート調査を実施し、事業成果の把握に努めるとともに、3年間を通して生徒の成長を継続的に測る生徒意識調査と併せて、進路目標に関する意識の変容等について研究を進めることができた。
- ・ スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールに指定されたこと、新たな学習プログラムを実施したことにより、地元以外（東京・関西など）への進学が例年の5%程度から15%に増加し、1年次から東京・海外への進路を志す生徒が15%を超えるなど、高い志の醸成を図ることができた。

○実施上の問題点と今後の課題

- ・ 学びの高度化
専門科目との有機的な関連性を持たせた体系的な3カ年の指導計画作成に向け、質の高い学びを生み出すカリキュラム・マネジメントの充実を図る必要がある。
- ・ 身に付いた力に見える化
アンケート調査における評価項目の見直しや、結果の分析方法など評価に関する研究を進め、明確な進路目標の形成過程において、生徒がどう変容したかを客観的に明らかにする必要がある。
- ・ 定量的評価指標の検討
高度な資質を身に付けたかどうかの指標（色彩検定、ファッション販売能力検定、英検準2級）の在り方について研究する必要がある。
- ・ 担当教員のスキルアップ
指導する教員のスキルアップは必要不可欠であるため、研修会等への派遣や産業界との交流を積極的に進めるなど、指導力の向上を図る必要がある。

